

単元名 視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 自分の思いや考えが聞き手に伝わるように文章を音読することができる。
 (2) 登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。
 (3) 視点の違いに着目して心情などを捉えて読み、感想を書いて伝え合おうとする。

標準的な展開例

06010103_001

【教材名】 帰り道 (P. 17～P. 33)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「帰り道」の全文を読み、学習の見通しをもつ。 ★視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう。 ○単元名とリード文を読み、自分がどんな帰り道を過ごしているか、また、「律」と「周也」の帰り道にどんなことが起こるかを考え交流する。 ○全文を読んで、「視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2～3 「律」と「周也」の人物像や心情がどのように変化したかを考え、交流する。 ○「律」と「周也」の人物像を考える。</p> <p>○考えた人物像について交流する。 ○登場人物の心情が伝わるように音読する。 ○二人の人物像を考え、発表し合う。</p> <p>○「律」と「周也」の心情がどのように変化したかを考えその後の二人の関係を想像する。</p> <p>4 感想を書き、交流する。 ○物語全体を読み深めることで感じたり考えたりしたことについて感想を書く。</p> <p>○書いたものを読み合い、思ったことや感じたことを伝え合う。</p> <p>○教科書 (P. 31) 「ふりかえろう」で単元の学びを振り返る</p>	<p>・教科書 (P. 9～10) で既習事項を確かめるとともに、教科書 (P. 30, P. 309) で「視点」の意味や使い方を押さえる。</p> <p>・同じ出来事に対する登場人物の捉え方や心情について、共通点や相違点をまとめさせる。 【評】描写を基に読む活動を通して、人物像を具体的に想像する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】文章を音読する活動を通して、自分の思いや考えが聞き手に伝わるようにする「知識・技能」を評価する。 ・教科書 (P. 31) 「感想を書く観点の例」を参考に、次時に感想をまとめるための見通しをもたせる。</p> <p>・内容や書かれ方に着目するなど、感想を書く観点について確認する。 【評】描写を基に読む活動を通して、登場人物の心情などを捉える「思考・判断・表現」を評価する。 【評】考えを交流する活動を通して、自分の経験や友達の感想などと比べて伝え合おうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・教科書 (P. 32) 「たいせつ」「いかそう」を読んで、身に付けた力を押さえる。 ・視点のちがいに着目することで、人物像についてとらえることができることを確認する。 ・「この本、読もう」で読書へと広げ、読んだ本について読書記録を付ける意識をもたせたい。 ・視点や構成を効果的に用いた物語についてふれることで、読書活動への意欲をもたせる。</p>

【 備 考 】